

## 人間ドック健診（検診）の注意事項

【必ずお読みください】

■前日の夜 22 時まで夕食をすませ、検査が終了するまで食事はとらないでください。  
当日朝は、水分の摂取、喫煙もご遠慮ください。（服薬や喉の渇き等で少量の水やお茶を飲むことは問題ありません。）

■服用中のお薬は主治医とあらかじめご相談のうえ、ご判断ください。

糖尿病の薬（特にインスリン注射）に関しては、検査当日、低血糖になる可能性がありますので、内服または注射されずに受診してください。

検査後は服用（注射）できますので、薬を中止される場合でもお薬をお持ちください。

### ■消化器検査

#### 大腸がん検査（便潜血検査）

- ・「正しい大便のとり方」の説明書、または封筒の裏面の注意事項に従って採便してください。
- ・2 日分の便で検査を行いますが、2 回目の採便が困難な場合は、1 回目の便で異なる部分から 2 本採便してください。
- ・正確な検査結果を得るために、できるだけ提出日に近い日に採便してください。

#### 胃 X 線検査

- \*人間ドック受診確認票①②「胃 X 線検査①②」もお読みください。
- ・授乳中の方は、受付でお申し出ください。下剤の種類が変わります。
- ・安全かつ適正な検査ができないと判断した場合は、お断りすることがあります。  
（体重や腹囲がかなり大きい方、バリウム・発泡剤の飲めない方、自立困難な方、麻痺のある方、認知症の方等）

### ■呼吸器検査

#### 胸部検査

- \*人間ドック受診確認票①「胸部検査（CT または胸部 X 線）」もお読みください。
- ・肺がん検診は、胸部 CT を標準としていますが、ご希望により胸部 X 線も選択できます。
- ・契約によっては、胸部 X 線に変更する場合があります。
- ・若年者（40 歳未満）は、がんの発生が少ないこと、被爆の影響等を考慮し、毎年の CT 検査を積極的にはお勧めしておりません。

## ■婦人科検査

\*人間ドック受診確認票①「女性の方のみお答えください」もお読みください。

### 乳がん検査（マンモグラフィ：X線検査）（乳房超音波検査：超音波検査）

- ・マンモグラフィと乳房超音波とは、検出しやすい病変に違いがあるのでどちらが優れているとは言い切れません。厚生労働省では、40歳以上の方に2年に1回のマンモグラフィ検査を推奨しています。乳腺が発達している若年の方（40歳未満）や授乳中の方は、マンモグラフィより乳房超音波をお勧めします。
- ・安全かつ適正な検査ができないと判断した場合は、マンモグラフィができない可能性があります。（背骨や胸骨の変形により撮影が困難な方、自立困難な方、骨がもろく骨折の危険性がある方等）

### 子宮頸がん検査

- ・子宮頸がんの原因は、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染により、発症すると言われています。このHPV感染は性感染症の一つで性行為によって感染します。今までに一度も性行為がない方は、原則的に子宮頸がん検診は必要ありません。  
（愛媛県保健福祉部健康衛生局：平成25年10月31日付け25健第893号「20歳からの子宮頸がん検診のお知らせ」より）
- ・稀にですが、医師の判断で細胞が採取できないことがあります。
- ・検診日が生理中で、出血の多い日であれば別の日の検診をお勧めします。

## がん検診の精密検査について

「要精密検査（要精査）」と判断された方は、できるだけ早い時期に、必ず専門の医療機関を受診してください。医療機関で行われる検査は以下のようなものがあります。

- ・肺がん検診：CT検査、気管支鏡検査
- ・胃がん検診：上部内視鏡検査等
- ・大腸がん検診：全大腸内視鏡検査等
- ・乳がん検診：マンモグラフィ、超音波検査、細胞診、組織診、針生検等
- ・子宮頸がん検診：コルポスコープ下の組織診、HPV検査等

有効性の確立したがん検診を適切に受診することで、がんの死亡率を減少させることができます。しかし、すぐれた設備、撮影技術・検査技術および読影技術を駆使しても、残念ながら100%の精度ではありません。今回の結果が「精検不要（異常なしや経過観察）」であっても、自覚症状があれば専門の医療機関を受診してください。上記5つのがんは亡くなる方の上位（なお、子宮頸がんの罹患率は、近年増加傾向）にあることから、今後も定期的に検診を受けていきましょう。

### \*喫煙習慣のある方へ

喫煙は肺がんをはじめ、多くのがん発症、死亡に関与しています。また、受動喫煙により家族や周囲の人にも健康障害を与えます。ご本人およびご家族のがん予防、健康維持のため禁煙が望まれます。